

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第40週 (10/3-10/9) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		40週	39週	38週	37週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	27
基幹定点		1	1	1	1

上段: 患者数
下段: 定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	10/3-10/9	9/26-10/2	9/19-9/25	9/12-9/18	9/26-10/2
			40週	39週	38週	37週	39週
小児科	RSウイルス感染症		7 0.39	6 0.33	6 0.33	23 1.28	124 0.95
	咽頭結膜熱		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3 0.17	3 0.17	6 0.33	1 0.06	36 0.28
	感染性胃腸炎	↓	26 1.44	39 2.17	26 1.44	41 2.28	315 2.42
	水痘		3 0.17	0 0.00	4 0.22	1 0.06	9 0.07
	手足口病	★↓	46 2.56	67 3.72	67 3.72	126 7.00	215 1.65
	伝染性紅斑		1 0.06	0 0.00	0 0.00	1 0.06	1 0.01
	突発性発しん		9 0.50	4 0.22	6 0.33	6 0.33	29 0.22
	ヘルパンギーナ		2 0.11	3 0.17	3 0.17	9 0.50	50 0.38
	流行性耳下腺炎		0 0.00	2 0.11	1 0.06	2 0.11	11 0.08
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		3 0.11	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.02
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	0 0.00	1 0.20	0 0.00	2 0.06
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 1.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	1 1.00	1 0.00	0 0.00	1 0.11
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患: 250 例 ※ 新型コロナウイルス感染症245例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	10歳未満	病原体の分離・同定
アメーバ赤痢	男性	30歳代	病原体の検出				
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	女性	70歳代	病原体の分離・同定	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
				新型コロナウイルス感染症	男女	10歳代-90歳代	病原体遺伝子の検出等

*第40週は、結核1例(114)、アメーバ赤痢1例(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(3)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(83)、梅毒1例(36)、*新型コロナウイルス感染症245例(143,996)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

※ 新型コロナウイルス感染症の発生届数は、届出対象の見直しにより、9/26(第39週)から65歳以上及び入院を要する者等の4類型及び死亡した患者(当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。)に限定されています。

定点当たり報告数 第40週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週より減少し1.44となった。過去10年の同時期と比べると少なく、2歳で最多。区別の発生状況は、緑区(3.00)で最多で、同区の2歳で最も多く発生報告があった。

<手足口病>

前週より減少し2.56となった、流行発生警報終息基準値(2.00。以下「終息レベル」という)を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると多めで、1歳で最多。区別の発生状況は、稲毛区(5.00)で流行発生警報開始基準値(5.00)と並び最多で、同区の1歳で最も多く発生報告があった。他、中央区(2.67)及び若葉区(2.50)では終息レベルを上回った。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf